

CAP-2 1/3苗箱使用で女性でも楽に作業。

- 1/3苗箱を約40秒に1回供給するだけの余裕のある作業です。
- 1時間35aの移植が可能です。
- 苗の分離は分離針方式のためポットの土揚げが少なく、植え付け姿勢・株間が安定します。



CAP-2MDIによる移植作業



ロボット部

写真は施肥機・ダブル車輪・移動苗台付CAP-2MDZです。

CAP-W 400mを無補給で移植。

- 1畦にポット1.5冊分の溜め置きができ、約400mの無補給移植が可能です。
- ワイドロボット2基搭載により一時間50aの高効率を実現します。
- 1/2苗箱使用。



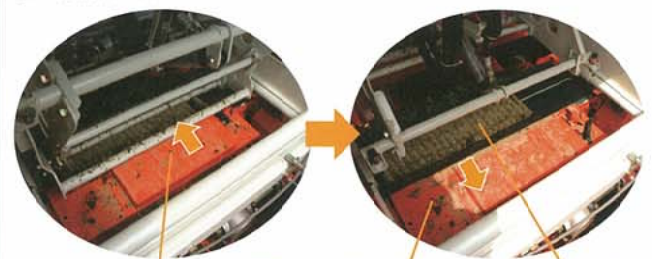
写真はダブル車輪・移動苗台付CAP-WDZです。施肥機付CAP-WMDZもあります。

全自動ビート移植機の装備

苗アジャスター

苗アジャスターの働きにより、コンベヤベルト上に置いた苗を基準の位置に揃えます。

- ① 植え付け深さが均一になります。
- ② 選別精度が向上します。



苗アジャスター、押し出した状態。戻った状態。苗が基準の位置に揃った。

バックアップ機能

ロボット部のセンサーにトラブルがあった場合でも、継続して移植作業が出来る機能(圧力センサー)が付いているので安心して作業が出来ます。

メンテナンス

ロボット部を横にスライドさせることが出来るので、苗選別部および植付部のメンテナンスが容易に行えます。



CAP-4 ロボット4基搭載で高効率を実現、65a/時間。

- 一人の苗供給者で4畦移植が出来ます。
- 1/3苗箱を使用しますので、苗の積み込み・供給等に要する負担が少なく、女性でも楽に作業ができます。
- 4畦移植することで、管理作業がスムーズに行えます。



写真はCAP-4E(発電装置付)です



CAP-4EDZによる移植作業

全自動ビート移植機のオプション

移動苗台(CAP-2、CAP-4)

苗台が油圧によりトラックの荷台に迎へに行きますので、楽に・安全に苗の積み込みが出来ます。

苗の積み込み



移植状態



※ 苗台を可動させるための油圧はトラクタより取り出します。
※ 年式により取付け出来ない機種があります。
※ CAP-Wの場合は写真の動きと異なります。

発電装置

トラクターからの配線の手間が省け、安定した電源が得られるので、電氣的トラブルが解消します。



ダブル車輪

傾斜地での横流れ防止に有効です。

2畦用



4畦用



電動植深調節装置

苗供給者が移植機に乗ったまま移植深さを調整できます。



電動シリンダー



操作スイッチ